

調査結果の概要

学校調査

1 小学校

(1) 学校数 [表1、統計表1・22]

ア 学校数は832校で、前年度より2校減少している。

イ 設置者別では、国立3校(構成比0.4%)、公立820校(同98.6%)、私立9校(同1.1%)である。

(2) 学級数 [表1、統計表9・22]

ア 学級数は12,381学級で、前年度より149学級(1.2%)増加している。

イ 設置者別では、国立51学級(構成比0.4%)、公立12,228学級(同98.8%)、私立102学級(同0.8%)である。

ウ 学級編成別では、単式学級10,965学級(構成比88.6%)、複式学級91学級(同0.7%)、75条の学級1,325学級(同10.7%)である。

表1 小学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学校数				学級数			
	国立	公立	私立		単式	複式	75条	
平成15年度	857	3	845	9	11,737	10,483	96	1,158
16	851	3	839	9	11,962	10,667	93	1,202
17	845	3	833	9	12,022	10,695	87	1,240
18	834	3	822	9	12,232	10,865	90	1,277
19	832	3	820	9	12,381	10,965	91	1,325

(3) 児童数 [表2、図1、統計表11・22]

ア 児童数は327,311人で、前年度より1,111人(0.3%)減少している。

昭和56年度の536,442人をピークに連続して減少していたが、平成16年度に23年ぶりに増加に転じ、3年連続増加したが、本年度再び減少した。

イ 設置者別では、国立1,681人(構成比0.5%)、公立323,088人(同98.4%)、私立3,542人(同1.1%)である。

ウ 男女別では、男167,079人(構成比51.0%)、女160,232人(同49.0%)である。

エ 1学級当たりの児童数は26.4人(全国値25.7人)で、前年度より0.4人減少している。

オ 教員(本務者)1人当たりの児童数は17.9人(全国値17.1人)で、前年度より0.2人減少している。

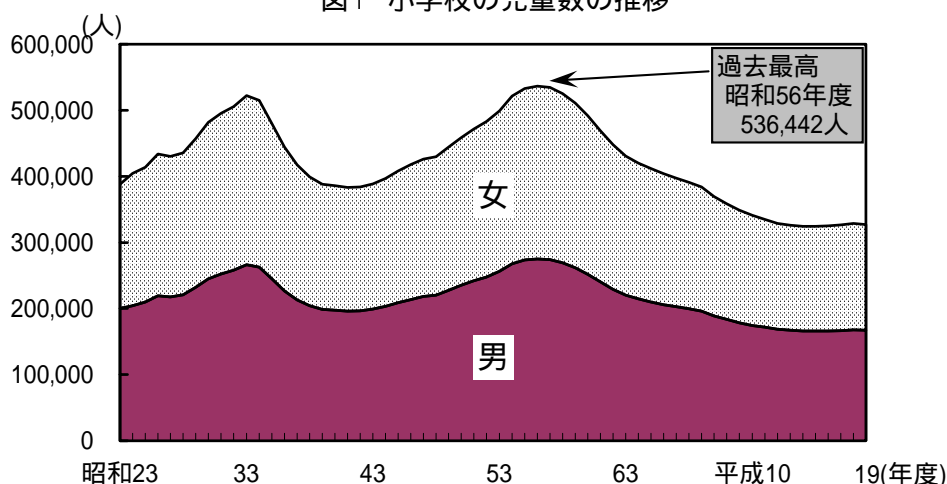
表2 小学校の児童数 (人)

区分	児童数			1学級当たりの児童数		教員(本務者)1人当たりの児童数	
	男	女			全国値		全国値
平成15年度	324,482	166,198	158,284	27.6	26.5	18.5	17.5
16	324,849	166,262	158,587	27.2	26.3	18.3	17.4
17	326,520	166,891	159,629	27.2	26.1	18.2	17.3
18	328,422	167,778	160,644	26.8	25.9	18.1	17.2
19	327,311	167,079	160,232	26.4	25.7	17.9	17.1

(注)1 「1学級当たりの児童数」とは、児童数計を学級数計で割った数値である。

2 「教員1人当たりの児童数」とは、児童数計を教員数(本務者)で割った数値である。

図1 小学校の児童数の推移

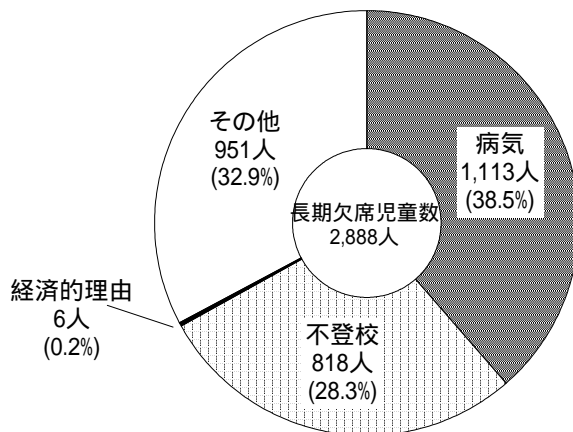


(4) 長期欠席児童数 [図2、統計表15・22]

ア 平成18年度間に連続して又は断続して30日以上欠席した児童は2,888人で、前年度より38人(1.3%)増加している。これは全児童の0.9%(前年度と同じ)に当たる。

イ 理由別の内訳では、病気1,113人(構成比38.5%)、不登校818人(同28.3%)、経済的理由6人(同0.2%)、その他951人(同32.9%)である。

図2 小学校の理由別長期欠席児童数



(5) 教員数(本務者) [表3、統計表18・22]

ア 教員数(本務者)は18,305人で、前年度より194人(1.1%)増加している。

イ 男女別では、男6,753人(構成比36.9%)、女11,552人(同63.1%)で、女性教員の占める比率は、前年度と同率である。

表3 小学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)	
	男	女
平成15年度	6,450	11,072
16	6,529	11,199
17	6,628	11,311
18	6,688	11,423
19	6,753	11,552

2 中学校

(1) 学校数 [表4、統計表1・23]

ア 学校数は400校で、前年度と同じである。

イ 設置者別では、国立3校(構成比0.8%)、公立356校(同89.0%)、私立41校(同10.3%)である。

(2) 学級数 [表4、統計表9・23]

ア 学級数は5,025学級で、前年度より1学級(0.0%)増加している。

イ 設置者別では、国立30学級(構成比0.6%)、公立4,633学級(同92.2%)、私立362学級(同7.2%)である。

ウ 学級編成別では、単式学級4,509学級(構成比89.7%)、75条の学級516学級(同10.3%)である。

表4 中学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学 校 数				学 級 数			
	国立	公立	私立		単式	複式	75条	
平成15年度	405	3	363	39	5,148	4,694	-	454
16	405	3	361	41	5,075	4,605	-	470
17	401	3	357	41	5,041	4,547	-	494
18	400	3	356	41	5,024	4,508	-	516
19	400	3	356	41	5,025	4,509	-	516

(3) 生徒数 [表5、図3、統計表11・23]

ア 生徒数は160,120人で、前年度より590人(0.4%)増加し、昭和62年度以降(昭和61年度の生徒数273,732人)減少していたが、本年度21年ぶりに増加した。

イ 設置者別では、国立1,043人(構成比0.7%)、公立145,362人(同90.8%)、私立13,715人(同8.6%)である。

ウ 男女別では、男81,714人(構成比51.0%)、女78,406人(同49.0%)である。

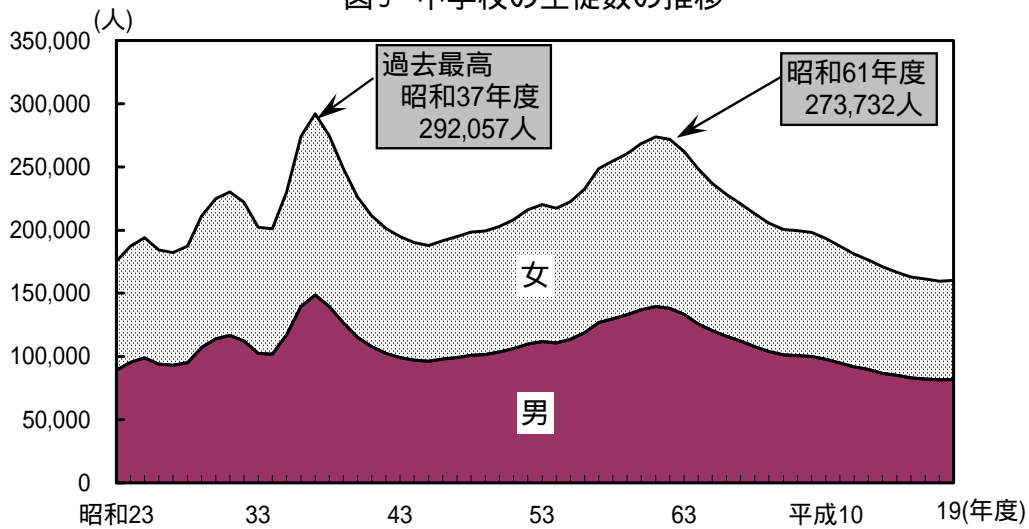
エ 1学級当たりの生徒数は31.9人(全国値30.2人)で、前年度より0.1人増加している。

オ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は15.1人(全国値14.5人)で、前年度と同数である。

表5 中学校の生徒数 (人)

区分	生 徒 数			1学級当たり の生徒数		教員(本務者)1人 当たりの生徒数	
		男	女	全国値	全国値		
平成15年度	166,624	85,065	81,559	32.4	31.3	15.6	14.9
16	162,779	83,012	79,767	32.1	31.0	15.3	14.7
17	161,198	82,135	79,063	32.0	30.7	15.1	14.6
18	159,530	81,439	78,091	31.8	30.4	15.1	14.5
19	160,120	81,714	78,406	31.9	30.2	15.1	14.5

図3 中学校の生徒数の推移

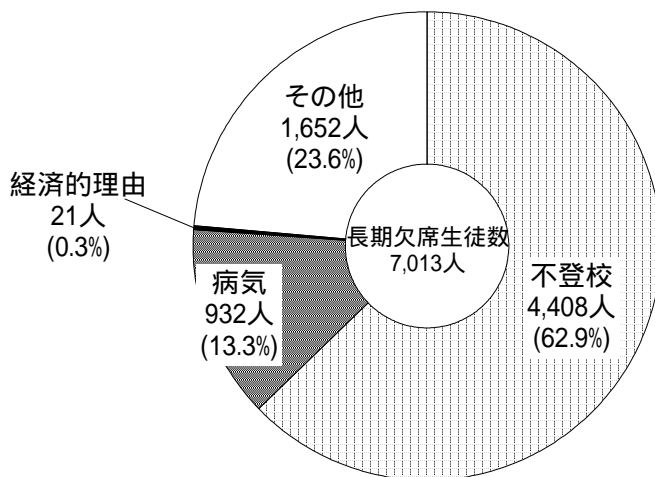


(4) 長期欠席生徒数 [図4、統計表15・23]

ア 平成18年度間に連続して又は断続して30日以上欠席した生徒は7,013人で、前年度より376人(5.7%)増加している。これは、全生徒の4.4%(前年度より0.3ポイント上昇)に当たる。

イ 理由別の内訳では、不登校4,408人(同62.9%)、病気932人(構成比13.3%)、経済的理由21人(同0.3%)、その他1,652人(同23.6%)である。

図4 中学校の理由別長期欠席生徒数



(5) 教員数(本務者) [表6、統計表18・23]

ア 教員数(本務者)は10,611人で、前年度より36人増加している。

イ 男女別では、男6,541人(構成比61.6%)、女4,070人(同38.4%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.3ポイント上昇している。

表6 中学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)	
	男	女
平成15年度	10,711	4,056
16	10,645	4,012
17	10,649	4,043
18	10,575	4,032
19	10,611	4,070

3 高等学校

(1) 学校数 [表7、統計表1・4・24]

ア 学校数は220校で、前年度より2校減少している。

イ 設置者別では、公立168校(構成比76.4%)、私立52校(同23.6%)である。

ウ 課程別では、全日制独立校193校(構成比87.7%)、定時制独立校16校(同7.3%)、全日制・定時制併置校11校(同5.0%)である。

(2) 学級数 [表7、統計表9・24]

学級数(教科外活動としてホームルーム活動を行うために編成されている公立学校本科の学級数)は2,899学級で、前年度より75学級(2.5%)減少している。

表7 高等学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学 校 数						学級数
	設置者別		課程別				
	公立	私立	全日制	定時制	併置		
平成15年度	232	180	52	198	22	12	3,256
16	231	179	52	199	20	12	3,162
17	224	172	52	194	18	12	3,057
18	222	170	52	193	18	11	2,974
19	220	168	52	193	16	11	2,899

(3) 生徒数 [表8、図5・6、統計表11・12・24]

ア 生徒数は145,941人で、前年度より3,966人(2.6%)減少し、平成元年度の245,779人をピークに18年連続して減少している。

イ 設置者別では、公立108,908人(構成比74.6%)、私立37,033人(同25.4%)である。

ウ 男女別では、男73,345人(構成比50.3%)、女72,596人(同49.7%)である。

エ 本科の生徒数は145,793人で、課程別にみると全日制139,643人(構成比95.8%)、定時制6,150人(同4.2%)である。

専攻科の生徒は148人である。

オ 本科の学科別生徒数をみると、普通科111,135人(構成比76.2%)、工業科10,942人(同7.5%)、総合学科7,692人(同5.3%)、商業科7,566人(同5.2%)の順となっている。

カ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は14.0人(全国値14.0人)で、前年度より0.2人減少している。

表8 高等学校の生徒数 (人)

区分	生 徒 数								教員(本務者)1人 当たりの生徒数	
	男	女	本 科	専攻科	別科	本 科		別科	全国値	
						全日制	定時制			
平成15年度	163,153	80,425	82,728	162,971	156,556	6,415	155	27	14.9	14.7
16	159,320	79,021	80,299	159,161	152,641	6,520	159	-	14.7	14.5
17	154,209	76,741	77,468	154,067	147,644	6,423	142	-	14.5	14.3
18	149,907	74,634	75,273	149,757	143,500	6,257	150	-	14.2	14.1
19	145,941	73,345	72,596	145,793	139,643	6,150	148	-	14.0	14.0

図5 高等学校の生徒数の推移

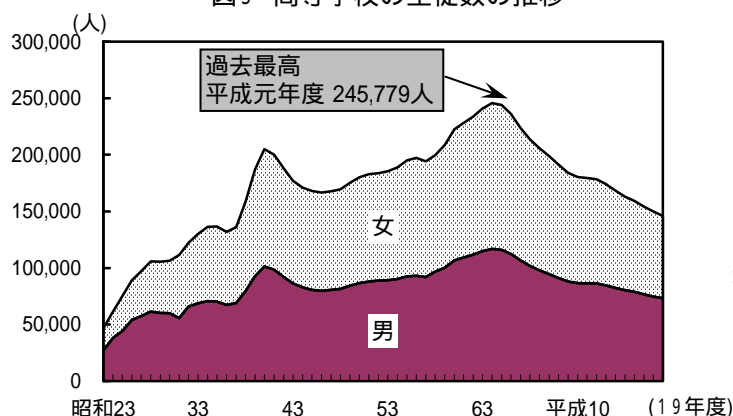
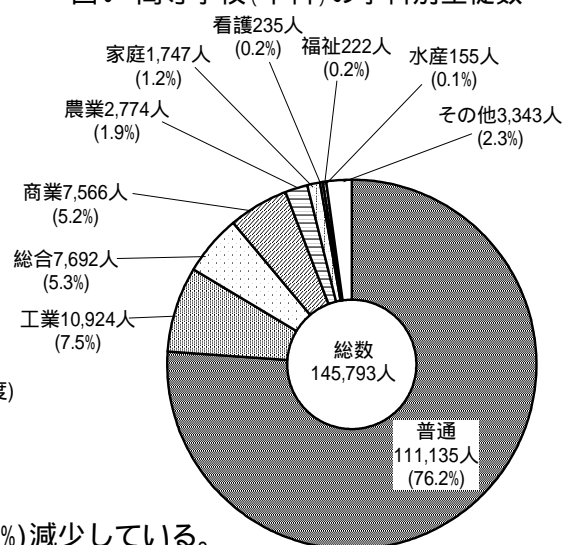


図6 高等学校(本科)の学科別生徒数



(4) 入学状況(本科) [表9、統計表16]

ア 入学志願者は82,900人で、前年度より965人(1.2%)減少している。

イ 入学者数は49,530人で、前年度より208人(0.4%)減少している。

男女別では、男25,015人(構成比50.5%)、女24,515人(同49.5%)である。

ウ 入学者のうち他府県所在の中学校卒業者は569人(構成比1.1%)、過年度中学校卒業者は517人(同1.0%)である。

表9 高等学校(本科)の入学志願者数及び入学者数

(人、%)

区分	入学志願者数			入学者数			入学率		
	a	男	女	b	男	女	b / a × 100	男	女
計	82,900	40,972	41,928	49,530	25,015	24,515	59.7	61.1	58.5
公立	44,823	22,535	22,288	36,694	18,250	18,444	81.9	81.0	82.8
私立	38,077	18,437	19,640	12,836	6,765	6,071	33.7	36.7	30.9
全日制計	80,449	39,401	41,048	47,501	23,729	23,772	59.0	60.2	57.9
公立	42,372	20,964	21,408	34,665	16,964	17,701	81.8	80.9	82.7
私立	38,077	18,437	19,640	12,836	6,765	6,071	33.7	36.7	30.9
定時制計	2,451	1,571	880	2,029	1,286	743	82.8	81.9	84.4
公立	2,451	1,571	880	2,029	1,286	743	82.8	81.9	84.4
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-

同一人が2以上の学校に入学志願した場合は、それぞれの学校の入学志願者として計上されるので入学志願者数は延数である。

(5) 教員数(本務者) [表10、統計表18・24]

ア 教員数(本務者)は10,392人で、前年度より174人(1.6%)減少している。

イ 男女別では、男7,621人(構成比73.3%)、女2,771人(同26.7%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.3ポイント上昇している。

表10 高等学校の教員数(本務者)

(人)

区分	教員数(本務者)		
	男	女	合計
平成15年度	10,919	2,814	13,733
16	10,854	2,875	13,729
17	10,662	2,826	13,488
18	10,566	2,787	13,353
19	10,392	2,771	13,163

(6) 通信制 [統計表1・11・18・25]

ア 学校数は2校で、前年度と同数である。

イ 生徒数は2,603人(男1,215人、女1,388人)で、前年度より48人(1.9%)増加している。

ウ 教員数(本務者)は51人(男40人、女11人)で、前年度と同じである。

4 中等教育学校 [表 11、統計表 1・9・11・18・26]

(1) 学校数

学校数は1校(公立1校)で、前年度と同数である。

(2) 学級数

学級数は10学級(前期課程6学級、後期課程4学級)で、前年度より2学級増加している。

(3) 生徒数

生徒数は369人(男106人、女263人)で、前年度より71人(23.8%)増加している。

(4) 教員数(本務者)

教員数(本務者)は33人(男19人、女14人)で、前年度より3人(10.0%)増加している。

表11 中等教育学校の学校数、学級数、生徒数及び教員数(本務者) (校、学級、人)

区分	学校数	前期課程				後期課程				教員数 (本務者)
		学級数	生徒数		学級数	生徒数				
			男	女		男	女			
平成15年度	1	2	80	33	47	-	-	-	-	12
16	1	4	157	57	100	-	-	-	-	18
17	1	6	232	71	161	-	-	-	-	23
18	1	6	232	61	171	2	66	25.00	41.00	30
19	1	6	238	65	173	4	131	41	90	33

中等教育学校とは、平成10年の学校教育法の改正により創設された学校制度で、本県では平成15年度より設置されている。

5 特別支援学校 [表 12、統計表 1・9・11・18・27]

学校教育法の一部改正に伴い、平成19年4月1日から盲・聾・養護学校が「特別支援学校」に一本化された。

(1) 学校数

学校数は42校(国立1校、県立23校、市立18校)で、前年度の盲・聾・養護学校の学校数合計と同数である。

(2) 学級数

学級数は1,118学級(国立9学級、県立721学級、市立388学級)で、前年度の盲・聾・養護学校の学級数合計より49学級増加している。

(3) 在学者数

在学者数は3,944人(男2,579人、女1,365人)で、前年度の盲・聾・養護学校の在学者数合計より179人(4.8%)増加している。

(4) 教員数(本務者)

教員数(本務者)は2,690人で、前年度の盲・聾・養護学校の教員数合計より120人(4.7%)増加している。男女別では、男1,284人(構成比47.7%)、女1,406人(同52.3%)で、女性教員の占める比率は、前年度の盲・聾・養護学校の教員数合計と比較すると0.6ポイント上昇している。

表12 特別支援学校の学校数、学級数、在学者数及び教員数(本務者) (校、学級、人)

区分	学校数	学級数	在学者数				教員(本務者)1人 当たりの在学者数		教員数 (本務者)	
			幼稚部	小学部	中学部	高等部	全国値			
平成15年度	41	1,032	3,497	85	836	742	1,834	1.44	1.58	2,434
16	41	1,030	3,551	79	852	776	1,844	1.44	1.59	2,463
17	42	1,059	3,659	69	885	790	1,915	1.44	1.60	2,533
18	42	1,069	3,765	74	900	849	1,942	1.46	1.61	2,570
19	42	1,118	3,944	70	918	933	2,023	1.47	1.62	2,690

平成15年度から18年度については、盲・聾・養護学校の合計値である。

6 幼稚園

(1) 学校数 [表13、統計表1・28]

ア 学校数は758園で、前年度より4園減少している。

イ 設置者別では、国立2園(構成比0.3%)、公立513園(同67.7%)、私立243園(同32.1%)である。

表13 幼稚園の学校数及び学級数 (園、学級)

区分	学校数			学級数	
	国立	公立	私立		
平成15年度	781	2	532	247	3,152
16	776	2	529	245	3,138
17	766	2	519	245	3,124
18	762	2	516	244	3,117
19	758	2	513	243	3,090

(2) 学級数 [表13、統計表9・28]

ア 学級数は3,090学級で、前年度より27学級(0.9%)減少している。

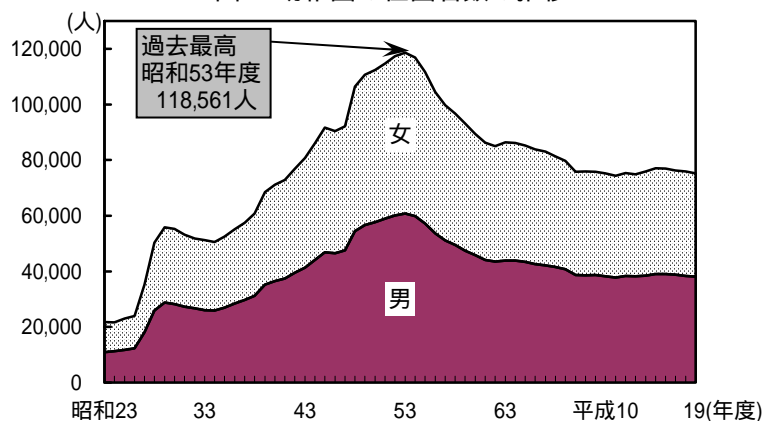
イ 設置者別では、国立11学級(構成比0.4%)、公立1,295学級(同41.9%)、私立1,784学級(同57.7%)である。

(3) 在園者数 [表13、図7、統計表11・28]

ア 在園者数は75,150人(男38,090人、女37,060人)で、前年度より728人(1.0%)減少している。

イ 年齢別では、3歳児12,205人、4歳児28,540人、5歳児34,405人で、前年度より3歳児は280人増加し、4歳児は187人、5歳児で821人それぞれ減少している。

図7 幼稚園の在園者数の推移



(4) 修了者数 [表14、統計表28]

ア 修了者数は35,309人で、前年度より646人(1.8%)減少している。

イ 就園率(本年度の小学校第1学年の児童数に占める本年3月の幼稚園修了者の比率)は65.3%で、前年度より0.5ポイント低下している。

表14 幼稚園の在園者数及び修了者数 (人、%)

区分	在園者数					教員(本務者)1人当たりの在園者数		修了者数	就園率		
	男	女	3歳児	4歳児	5歳児	全国値	全国値		全国値		
平成15年度	77,033	39,025	38,008	10,764	29,227	37,042	16.5	16.2	37,117	68.3	59.3
16	76,908	39,025	37,883	11,113	28,955	36,840	16.3	16.0	37,054	67.6	58.9
17	76,259	38,796	37,463	11,468	28,998	35,793	16.0	15.7	36,894	66.6	58.4
18	75,878	38,297	37,581	11,925	28,727	35,226	15.8	15.6	35,955	65.8	57.7
19	75,150	38,090	37,060	12,205	28,540	34,405	15.6	15.3	35,309	65.3	57.2

表15 幼稚園の教員数(本務者) (人)

(5) 教員数(本務者) [表15、統計表18・28]

ア 教員数(本務者)は4,810人で、前年度より15人(0.3%)増加している。

イ 男女別では、男204人(構成比4.2%)、女4,606人(同95.8%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.1ポイント低下している。

区分	教員数(本務者)		
	男	女	
平成15年度	4,671	162	4,509
16	4,716	163	4,553
17	4,757	184	4,573
18	4,795	195	4,600
19	4,810	204	4,606

7 専修学校

(1) 学校数 [表16、統計表1・29]

学校数は102校(国立1校、公立10校、私立91校)で、前年度より3校減少している。

(2) 生徒数 [表16、図8、10、統計表7・29]

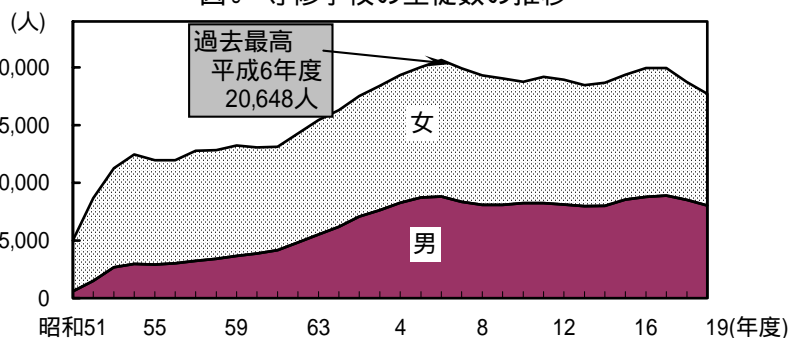
生徒数は17,730人(男8,049人、女9,681人)で、前年度より993人減少している。

表16 専修学校の学校数及び生徒数

(校、人)

区分	学校数				生徒数					
	国立	公立	私立		男	女	高等課程	専門課程	一般課程	
平成15年度	100	3	9	88	19,360	8,573	10,787	2,491	16,869	-
16	99	1	9	89	19,942	8,796	11,146	2,276	17,666	-
17	102	1	10	91	19,949	8,904	11,045	2,017	17,932	-
18	105	1	10	94	18,723	8,516	10,207	1,778	16,945	-
19	102	1	10	91	17,730	8,049	9,681	1,721	16,009	-

図8 専修学校の生徒数の推移



(3) 教員数(本務者) [表17、統計表29]

ア 教員数(本務者)は1,236人で、前年度より1人(0.1%)増加している。

イ 男女別では、男579人(構成比46.8%)、女657人(同53.2%)で、女性教員の占める比率は前年度と同じである。

表17 専修学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)	
	男	女
平成15年度	1,265	717
16	1,242	687
17	1,256	677
18	1,235	657
19	1,236	657

図9 専修学校の学科数

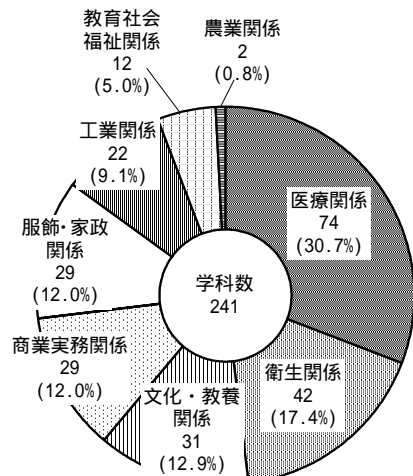
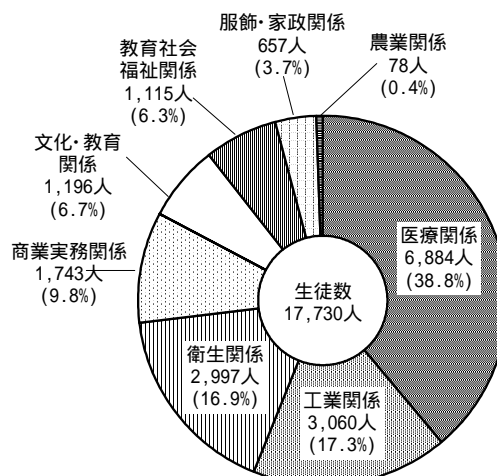


図10 専修学校の学科別生徒



8 各種学校

(1) 学校数 [表18、統計表1・30]

学校数は95校(私立95校)で、前年度より2校減少している。

(2) 生徒数 [表18、図11、13、統計表8・30]

生徒数は9,794人(男4,933人、女4,861人)で、前年度より118人(1.2%)減少している。

(3) 教員数(本務者) [表18、統計表30]

ア 教員数(本務者)は603人で、前年度より8人(1.3%)増加している。

イ 男女別では、男336人(構成比55.7%)、女267人(同44.3%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.8ポイント増加している。

表18 各種学校の学校数、生徒数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	生徒数		教員数(本務者)			
		男	女	男	女	女	
平成15年度	109	10,385	5,039	5,346	629	348	281
16	104	10,181	4,983	5,198	627	355	272
17	101	10,067	4,907	5,160	599	337	262
18	97	9,912	4,979	4,933	595	336	259
19	95	9,794	4,933	4,861	603	336	267

図11 各種学校の生徒数の推移

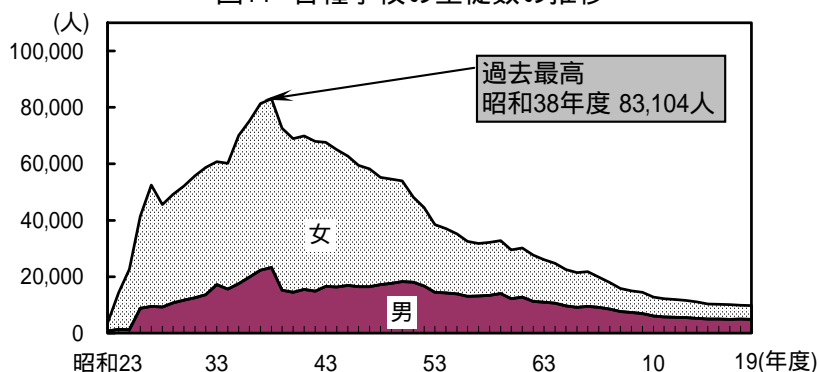


図12 各種学校の課程数

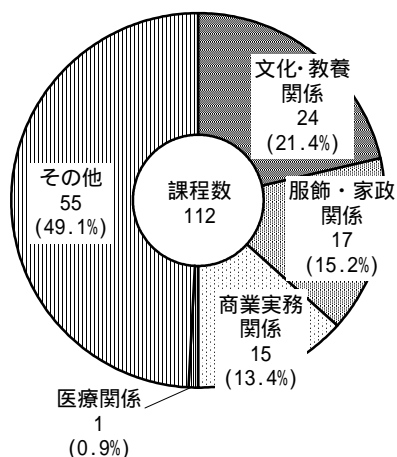
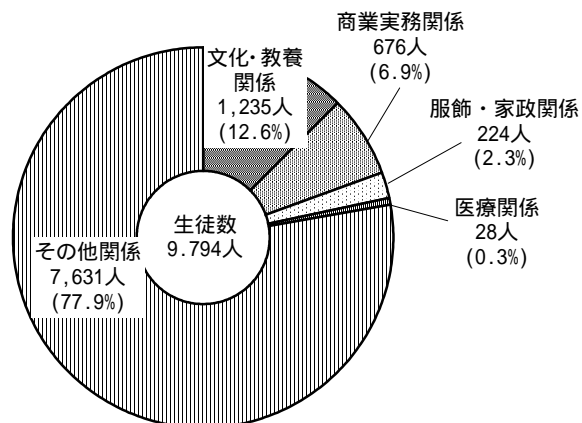


図13 各種学校の課程別生徒数



9 大学

(1) 学校数 [表19、統計表39・42]

- ア 学校数は42校で、前年度より、私立が3校増加している。
- イ 設置者別では、国立2校、公立6校、私立34校である。

(2) 学生数 [表19、統計表41・42]

- ア 学生数は121,135人(学部108,950人、大学院10,042人、専攻科・別科等2,143人)で、前年度より999人(0.8%)減少している。
- イ 設置者別では、国立19,413人(構成比16.0%)、公立9,319人(同7.7%)、私立92,403人(同76.3%)で、前年度より国立は10人減少、公立は121人減少、私立は868人減少している。
- ウ 男女別では、男59,460人(構成比49.1%)で前年度より1,249人減少、女61,675人(同50.9%)で250人増加している。

(3) 教員数(本務者) [表19、統計表42]

教員数(本務者)は6,044人で、前年度より154人(2.6%)増加している。

区分	学校数	学 生 数					教員数 (本務者)
			男	女	うち学部	うち大学院	
平成15年度	36	121,066	59,711	61,355	109,359	8,648	5,389
16	36	120,837	59,349	61,488	108,911	9,085	5,526
17	38	123,243	61,470	61,773	108,687	9,598	5,630
18	39	122,134	60,709	61,425	108,090	9,944	5,890
19	42	121,135	59,460	61,675	108,950	10,042	6,044

(4) 学部学生及び大学院学生 [表20、統計表43・46]

- ア 学部学生は108,950人(男52,193人、女56,757人)で、前年度より860人(0.8%)増加している。
関係分野別にみると、「社会科学関係」40,183人(構成比36.9%)が最も多く、次いで「人文科学関係」27,406人(同25.2%)、「保健関係」9,266人(同8.5%)の順となっている。
昼夜別では、昼間108,056人(構成比99.2%)、夜間894人(同0.8%)である。
- イ 大学院学生は10,042人で、前年度より98人(1.0%)増加している。
課程別にみると、修士課程5,960人(男3,595人、女2,365人)、博士課程2,666人(男1,648人、女1,018人)、専門職学位課程1,416人(男1,038人、女378人)である。
関係分野別では、「社会科学関係」2,464人(構成比24.5%)が最も多く、次いで「保健関係」1,175人(同11.7%)、「人文科学関係」1,083人(同10.8%)の順となっている。

表20 大学の関係分野別学生数

(人、%)

区分	学 部				大 学 院			
		男	女	構成比		男	女	構成比
計	108,950	52,193	56,757	100.0	10,042	6,281	3,761	100.0
人文科学関係	27,406	6,497	20,909	25.2	1,083	397	686	10.8
社会科学関係	40,183	28,183	12,000	36.9	2,464	1,739	725	24.5
理 学 関 係	1,501	1,088	413	1.4	432	319	113	4.3
工 学 関 係	5,301	4,249	1,052	4.9	1,014	913	101	10.1
農 学 関 係	739	420	319	0.7	164	106	58	1.6
保 健 関 係	9,266	2,797	6,469	8.5	1,175	609	566	11.7
商 船 関 係	898	816	82	0.8	-	-	-	-
家 政 関 係	4,547	62	4,485	4.2	82	3	79	0.8
教 育 関 係	2,940	797	2,143	2.7	978	491	487	9.7
芸 術 関 係	2,673	1,135	1,538	2.5	71	31	40	0.7
そ の 他	13,496	6,149	7,347	12.4	2,579	1,673	906	25.7

(5) 学部学生の入学状況 [表21、統計表44・45]

ア 大学学部への入学志願者数は168,705人で、前年度より6,330人(3.9%)増加している。

男女別では、男83,979人(構成比49.8%)で前年度より3,497人、女84,726人(同50.2%)で2,833人増加している。

イ 入学者数は27,588人で、前年度より1,183人(4.5%)増加している。

男女別では、男12,613人(構成比45.7%)で前年度より218人増加、女14,975人(同54.3%)で965人増加している。

卒業年次別にみると、平成19年3月(新規)高等学校卒業者が23,620人(構成比85.6%)と最も多く、平成18年3月高等学校卒業者2,655人(同9.6%)、平成17年3月以前高等学校卒業者353人(同1.3%)の順となっており、新規高等学校卒業者が占める比率は前年度より0.6ポイント上昇している。

入学者のうち13,393人(男6,079人、女7,314人)が県内高等学校出身者であり、その占める比率は48.5%で前年度より1.0ポイント上昇している。

表21 大学(学部)の入学志願者数及び入学者数

(人、%)

区分	入学志願者数		入学者数		
		うち新規高校 卒業生数		うち新規高校 卒業生数	うち県内高校 出身者数
計	168,705	134,580	27,588	23,620 (85.6)	13,393 (48.5)
男	83,979	60,694	12,613	10,072 (36.5)	6,079 (22.0)
女	84,726	73,886	14,975	13,548 (49.1)	7,314 (26.5)

()は構成比

10 短期大学

(1) 学校数 [表22、統計表47・49]

- ア 学校数は21校で、前年度より2校減少している。
- イ 設置者別では、公立1校、私立20校である。

(2) 学生数 [表22、統計表49]

- ア 学生数は9,922人(本科9,607人、専攻科228人、その他87人)で、前年度より954人(8.8%)減少している。
- イ 男女別では、男966人(構成比9.7%)で前年度より173人減少、女8,956人(同90.3%)で781人減少している。

(3) 教員数(本務者) [表22、統計表49]

教員数(本務者)は604人で、前年度より26人(4.1%)減少している。

表22 短期大学の学校数、学生数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	学 生 数				教員数 (本務者)
			男	女	うち本科	
平成15年度	23	13,032	1,223	11,809	12,699	670
16	23	12,682	1,337	11,345	12,360	670
17	23	11,849	1,323	10,526	11,572	659
18	23	10,876	1,139	9,737	10,573	630
19	21	9,922	966	8,956	9,607	604

表23 短期大学の関係分野別本科学学生数

(4) 本科学学生数 [表23、統計表50]

- ア 本科学学生数は9,607人(男913人、女8,694人)で、前年度より966人(9.1%)減少している。
- イ 関係分野別にみると、「教育関係」3,409人(構成比35.5%)が最も多く、次いで「家政関係」2,620人(同27.3%)、「人文関係」1,096人(同11.4%)の順となっている。

区分	学 生 数			
	男	女	構成比	
計	9,607	913	8,694	100.0
人 文	1,096	36	1,060	11.4
社 会	36	-	36	0.4
工 業	509	472	37	5.3
農 業	44	44	-	0.5
保 健	495	48	447	5.2
家 政	2,620	20	2,600	27.3
教 育	3,409	186	3,223	35.5
芸 術	541	69	472	5.6
その他	857	38	819	8.9

(5) 本科学学生の入学状況 [表24、統計表51・52]

- ア 短期大学の本科への入学志願者数は10,387人で、前年度より1,068人(9.3%)減少している。
男女別では、男578人(構成比5.6%)で前年度より214人減少し、女9,809人(同94.4%)で854人減少した。
- イ 入学者数は4,483人で、前年度より467人(9.4%)減少している。
男女別では、男400人(構成比8.9%)で前年度より58人減少し、女4,083人(同91.1%)で409人減少している。

卒業年次別にみると、平成19年3月(新規)高等学校卒業者が4,235人(構成比94.5%)と最も多く、平成17年3月以前高等学校卒業者148人(同3.3%)、平成18年3月高等学校卒業者69人(同1.5%)、その他31人(同0.7%)の順となっており、新規高等学校卒業者が占める比率は前年度と同じである。

入学者のうち2,741人(男186人、女2,555人)が県内高等学校出身者であり、その占める比率は61.1%で前年度より1.4ポイント低下している。

表24 短期大学(本科)の入学志願者数及び入学者数 (人、%)

区分	入学志願者数		入学者数		
		うち新規高校 卒業生数		うち新規高校 卒業生数	うち県内高校 出身者数
計	10,387	9,802	4,483	4,235 (94.5)	2,741 (61.1)
男	578	422	400	293 (6.5)	186 (4.1)
女	9,809	9,380	4,083	3,942 (87.9)	2,555 (57.0)

()は構成比

11 高等専門学校

(1) 学校数 [表25、統計表53]

ア 学校数は2校で、前年度と同数である。

イ 設置者別では、国立1校、公立1校である。

(2) 学生数 [表25、統計表53]

ア 学生数は2,153人(本科2,013人、専攻科135人、その他5人)で、前年度より1人増加している。

イ 男女別では、男1,862人(構成比86.5%)で前年度より15人増加し、女291人(同13.5%)で14人減少している。

(3) 教員数(本務者) [表25、統計表53]

教員数(本務者)は165人で、前年度より2人減少している。

表25 高等専門学校の学校数、学生数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	学 生 数					教員数 (本務者)	
		男	女	本科	専攻科	その他		
平成15年度	2	2,124	1,776	348	2,006	118	-	165
16	2	2,130	1,787	343	2,010	116	4	165
17	2	2,129	1,822	307	2,007	120	2	165
18	2	2,152	1,847	305	2,022	129	1	167
19	2	2,153	1,862	291	2,013	135	5	165

(4) 本科学生の入学状況 [統計表55]

ア 入学志願者数は752人で、前年度より12人(1.6%)減少している。

イ 入学者は406人で、前年度と同じである。うち平成19年3月(新規)中学校卒業生は406人(構成比100%)で、その占める比率は前年度より0.2ポイント上昇している。

卒業後の状況調査

1 中学校

(1) 卒業者数 [表26、図15、統計表56・68]

- ア 本年3月の卒業者数は53,813人で、前年より162人(0.3%)減少している。
- イ 男女別では、男27,463人(構成比51.0%)、女26,350人(同49.0%)である。
- ウ 設置者別では、国立350人(構成比0.7%)、公立49,062人(同91.2%)、私立4,401人(同8.2%)である。

(2) 卒業者の進路状況 [表26、図15、統計表56・68]

- ア 高等学校等進学者は52,578人で、前年より45人(0.1%)減少している。
男女別では、男26,760人(構成比50.9%)、女25,818人(同49.1%)である。
高等学校等進学率は97.7%で、前年より0.2ポイント上昇している。これを男女別にみると、男97.4%、女98.0%で、女子が男子を上回る傾向が続いている。
進路別にみると、高等学校本科が50,812人(構成比96.6%)と最も多く、次いで高等学校通信制906人(同1.7%)、高等専門学校446人(同0.8%)の順(上位3位)となっている。
高等学校等進学者のうち、他県への進学者は2,940人(男1,760人、女1,180人)で、前年より233人(8.6%)増加している。
- イ 専修学校(高等課程)進学者は54人(男22人、女32人)で、前年より95人(63.8%)減少し、専修学校(高等課程)進学率は0.1%で、前年より0.2ポイント低下している。
- ウ 専修学校(一般課程)等入学者は75人(男30人、女45人)で、前年より7人(8.5%)減少している。

表26 中学校の進路別卒業生数

区分	計	高等学校等進学者 A	専修学校(高等課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者(左記A～Dを除く) E	左記以外の者	死亡・不詳の者	左記A～Dのうち就職している者(再掲)	高等学校等進学率		就職率
											全国値	
平成15年3月	58,346	56,755	226	78	48	452	783	4	121	97.3	97.3	1.0
16	57,521	55,946	156	92	47	466	809	5	111	97.3	97.5	1.0
17	54,990	53,558	172	75	48	443	688	6	98	97.4	97.6	1.0
18	53,975	52,623	149	82	42	436	635	8	89	97.5	97.7	1.0
19	53,813	52,578	54	75	45	457	603	1	81	97.7	97.7	1.0

- (注)1 「高等学校等進学者」とは、高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部の本科、別科、及び高等専門学校に進学した者である。なお、進学しかつ就職した者を含む。
- 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校の一般課程又は各種学校に入学した者である。
- 3 「就職率」とは、卒業者のうち「E就職者(左記A～Dを除く)」及び「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。
- 4 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校等に入学した者又はA～Eの各項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかかな者である。

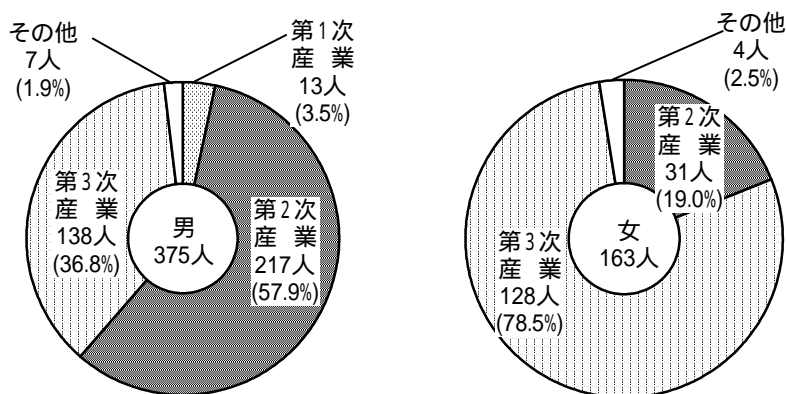
(3) 就職者数 [表26、図14・15、統計表56・58・68]

ア 就職者総数は538人(就職者457人、「高等学校等進学者」「専修学校(高等課程)進学者」「専修学校(一般課程)等入学者」「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者81人)で、前年より13人(2.5%)増加している。

イ 就職率は1.0%(男1.4%、女0.6%)で、前年と同率で、過去最低である。

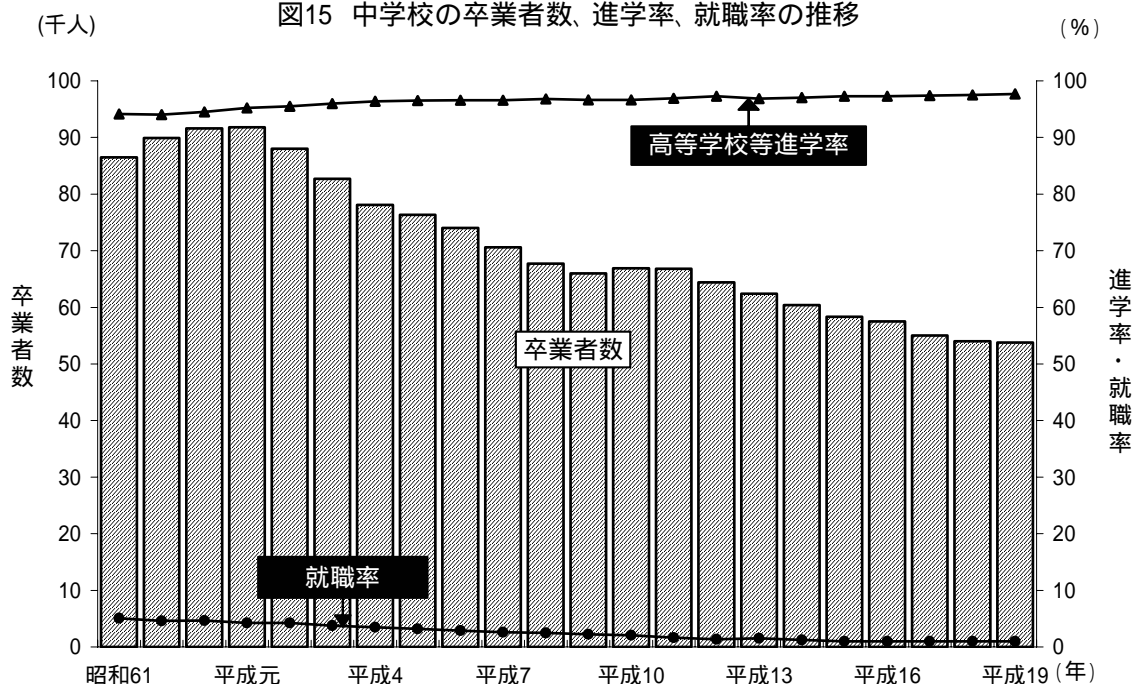
就職者を産業別にみると、第3次産業が266人(構成比49.4%)で最も多く、次いで第2次産業が248人(同46.1%)、第1次産業13人(同2.4%)、その他11人(同2.0%)とっている。

図14 中学校卒業者の産業別就職者数



(注) 第1次産業とは、農業、林業、漁業をいう。
 第2次産業とは、鉱業、建設業、製造業をいう。
 第3次産業とは、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、飲食店、宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業、複合サービス事業、サービス業、公務、及び分類不能の産業をいう。

図15 中学校の卒業生数、進学率、就職率の推移



2 高等学校

(1) 卒業生数 [表27、図17、統計表60・69]

- ア 本年3月の卒業生数は48,938人で、前年より797人(1.6%)減少している。
- イ 男女別では、男24,159人(構成比49.4%)、女24,779人(同50.6%)である。
- ウ 設置者別では、公立36,673人(構成比74.9%)、私立12,265人(同25.1%)である。

(2) 卒業生の進路状況 [表27・28、図17、統計表60・61・69]

- ア 大学等進学者は28,406人で、前年より561人(2.0%)増加している。
男女別では、男13,471人(構成比47.4%)、女14,935人(同52.6%)である。
大学等進学率は58.0%で、前年より2.0ポイント上昇している。これを男女別にみると、男55.8%、女60.3%で、女子が男子を上回る傾向が続いている。
大学等進学者を進路別にみると、大学(学部)への進学者が24,792人(構成比87.3%)と最も多く、次いで短期大学(本科)への進学者が3,523人(同12.4%)、高等学校(専攻科)72人(同0.3%)の順(上位3位)となっている。
- イ 専修学校(専門課程)進学者は7,031人(男2,662人、女4,369人)で前年より604人(7.9%)減少し、専修学校(専門課程)進学率は14.4%で前年より1.0ポイント低下している。
- ウ 専修学校(一般課程)等入学者は3,538人(男2,552人、女986人)で、前年より232人(6.2%)減少している。
- エ 大学等への志願状況は、大学学部への志願率が58.8%で前年より1.9ポイント上昇し、短期大学本科への志願率が7.4%で前年より0.8ポイント低下している。

表27 高等学校の進路別卒業生数

区分	計	(人、%)										就職率	
		大学等進学者 A	専修学校(専門課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者(左記A~Dを除く) E	一時的な仕事に就いた者 F	左記以外の者	死亡・不詳の者	左記A~Dのうち就職している者(再掲)	大学等進学率 全国値	就職率	
平成15年3月	54,668	28,703	8,837	5,374	163	7,114	...	4,470	7	41	52.5	44.6	13.1
16	52,951	27,993	8,952	4,642	185	6,913	1,647	2,616	3	32	52.9	45.3	13.1
17	51,589	28,325	8,623	3,820	161	7,190	1,280	2,181	9	26	54.9	47.3	14.0
18	49,735	27,845	7,635	3,770	164	7,182	1,168	1,961	10	23	56.0	49.3	14.5
19	48,938	28,406	7,031	3,538	128	7,189	1,048	1,586	12	12	58.0	51.2	14.7

(注)1 「大学等進学者」とは、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部・別科、高等学校の専攻科又は特別支援学校高等部の専攻科へ進学した者である。なお、進学しかつ就職した者を含む。

2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校へ入学した者である。

3 「就職率」とは、卒業生のうち「E就職者(左記A~Dを除く)」、及び「左記A~Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

4 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者又はA~Fの各項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者である。

5 「一時的な仕事に就いた者」は、従来「上記以外の者」に包含されていたが、卒業後の状況として、進学も就職もしていない者が近年増加していることから、実態を把握するため、平成16年度より調査項目となった。

表28 高等学校卒業生の大学等入学志願者数

区分	計	(人、%)					
		計		大学(学部)		短期大学(本科)	
		入学志願者 B	志願率 B/A × 100	入学志願者 C	志願率 C/A × 100	入学志願者 D	志願率 D/A × 100
平成15年3月	54,668	35,086	64.2	29,633	54.2	5,453	10.0
16	52,951	33,394	63.1	28,387	53.6	5,007	9.5
17	51,589	32,933	63.8	28,411	55.1	4,522	8.8
18	49,735	32,407	65.2	28,323	56.9	4,084	8.2
19	48,938	32,375	66.2	28,771	58.8	3,604	7.4

(3) 就職者数 [表27、図16・17、統計表60・63・64・65・69]

ア 就職者総数は7,201人(就職者7,189人、「大学等進学者」「専修学校(専門課程)進学者」「専修学校(一般課程)等入学者」「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者12人)で、前年より4人(0.1%)減少している。

イ 就職率は14.7%(男17.6%、女11.9%)で、前年より0.2ポイント上昇している。

ウ 就職者のうち自家・自営業については183人(構成比2.5%)、職業安定所又は学校を通じて就職した者は6,169人(同85.7%)である。

エ 就職者を職業別にみると、「生産工程・労務作業者」が3,965人(構成比55.1%)で最も多く、次いで「サービス職業従事者」1,129人(同15.7%)、「販売従事者」819人(同11.4%)の順となっている。

オ 産業別では、「製造業」が3,556人(構成比49.4%)と最も多く、次いで「卸売・小売業」893人(同12.4%)、「サービス業」542人(同7.5%)の順となっている。

カ 県外へ就職した者は1,067人(男677人、女390人)で、全体の14.8%である。

図16 高等学校卒業者の産業別就職者数

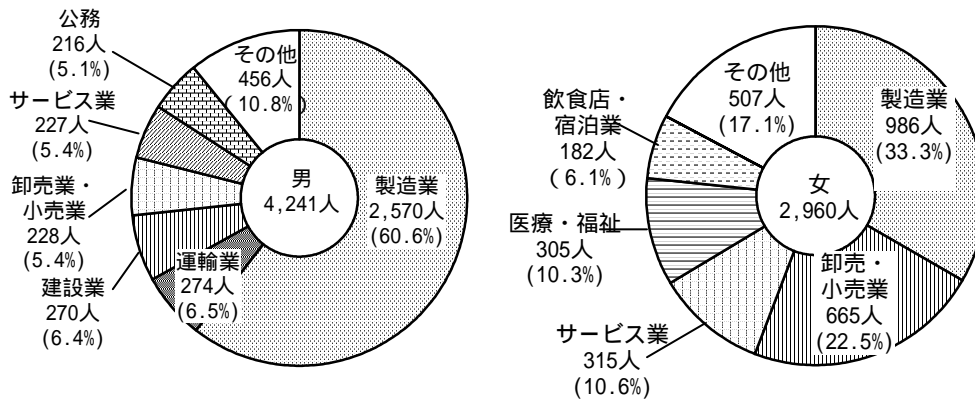
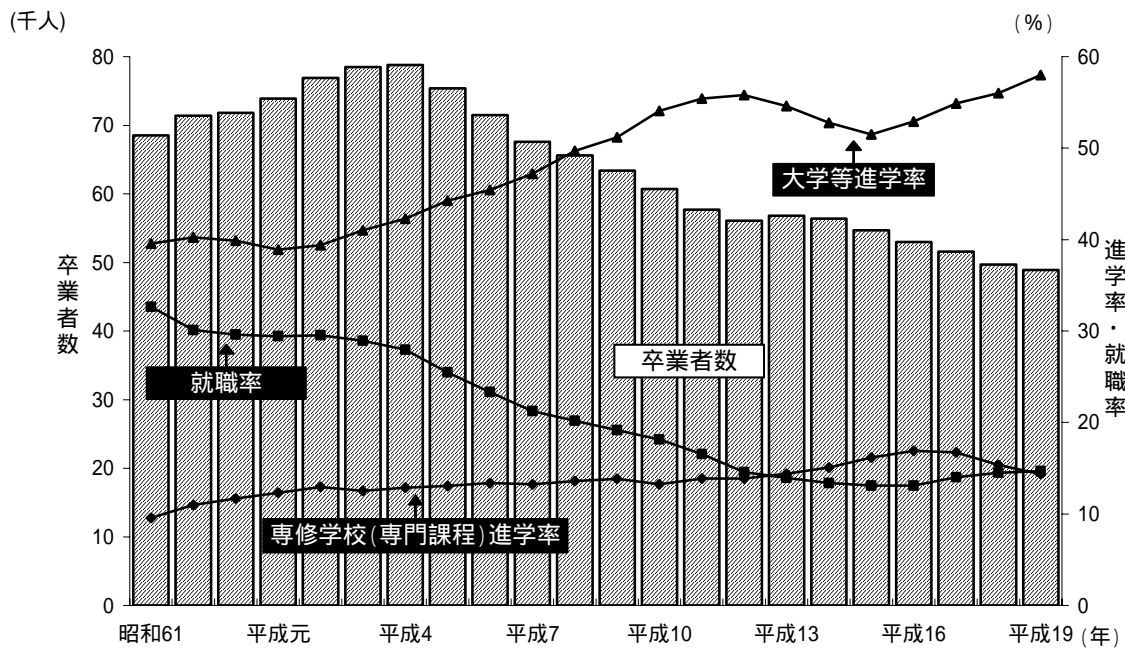


図17 高等学校の卒業生数、進学率、就職率の推移



3 盲・聾・養護学校

(1) 中学部 [表29、統計表59]

ア 本年3月の卒業生数は280人で、前年より30人(12.0%)増加している。

イ 男女別では、男191人(構成比68.2%)、女89人(同31.8%)である。

表29 盲・聾・養護学校(中学部)の進路別卒業生数

(人、%)

区分	計	高等学校等進学者	専修学校(高等課程)進学者	専修学校(一般課程)等入学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	左記以外の者	死亡・不詳の者	左記A~Dのうち就職している者(再掲)	左記Fのうち社会福祉施設等入所、通所者(再掲)	高等学校等進学率	就職率
		A	B	C	D	E	F					
平成15年3月	272	266	-	-	-	-	6	-	-	4	97.8	-
16	241	232	-	-	-	-	9	-	-	6	96.3	-
17	259	253	-	-	-	-	6	-	-	6	97.7	-
18	250	250	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
19	280	275	-	-	-	-	5	-	-	3	98.2	-

(注)1 「高等学校等進学者」とは、高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部の本科、別科、及び高等専門学校に進学した者である。なお、進学しかつ就職した者を含む。

2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校の一般課程又は各種学校に入学した者である。

3 「就職率」とは、卒業者のうち「E就職者」及び「左記A~Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

4 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校等に入学した者又はA~Eの各項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかでない者である。

(2) 高等部 [表29、統計表66・67]

ア 本年3月の卒業生数は583人で、前年より45人(7.2%)減少している。

イ 男女別では、男381人(構成比65.4%)、女202人(同34.6%)である。

ウ 大学等進学者は13人(男7人、女6人)で、うち特別支援学校高等部専攻科へ5人進学している。

エ 社会福祉施設等入所、通所者は348人(男233人、女115人)で、その内訳は、授産施設に245人(構成比70.4%)、更正施設58人(同16.7%)、児童福祉施設23人(同6.6%)、医療機関22人(同6.3%)である。

表30 盲・聾・養護学校(高等部)の進路別卒業生数

(人、%)

区分	計	大学等進学者	専修学校(専門課程)進学者	専修学校(一般課程)等入学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	左記以外の者	死亡・不詳の者	左記A~Dのうち就職している者(再掲)	左記Fのうち社会福祉施設等入所、通所者(再掲)	大学等進学率	就職率
		A	B	C	D	E						
平成15年3月	515	11	3	-	16	90	395	-	-	298	2.1	17.5
16	556	10	5	-	17	99	423	2	-	302	1.8	17.8
17	569	7	6	4	16	97	438	1	-	274	1.2	17.0
18	628	10	1	1	32	98	486	-	-	369	1.6	15.6
19	583	13	1	0	23	107	439	-	-	348	2.2	18.4

(注)1 「大学等進学者」とは、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部・別科、高等学校の専攻科又は特別支援学校高等部の専攻科へ進学した者である。なお、進学しかつ就職した者を含む。

2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校へ入学した者である。

3 「就職率」とは、卒業者のうち「E就職者」及び「左記A~Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

4 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者又はA~Eの各項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかでない者である。

不就学学齢児童生徒調査 [表 31、統計表 74・75]

- ア 不就学学齢児童生徒の総数は 131 人(就学免除者 33 人、就学猶予者 98 人)で、前年度より 2 人(1.5%)減少している。
- イ 1 年以上の居所不明者は 9 人で、前年度より 1 人増加している。
- ウ 平成 18 年度間の学齢児童生徒死亡者数は 33 人で、前年より 5 人増加している。

表31 不就学学齢児童生徒数 (人)

区分	計	就学免除者				就学猶予者				居所不明	死亡		
		計	男		女		計	男				女	
			6～11歳	12～14歳	6～11歳	12～14歳		6～11歳	12～14歳			6～11歳	12～14歳
平成15年度	109	22	8	3	9	2	87	44	7	26	10	6	37
16	118	29	8	6	10	5	89	45	11	25	8	3	37
17	126	29	12	5	9	3	97	45	9	31	12	4	40
18	133	31	11	2	14	4	102	47	14	31	10	8	28
19	131	33	14	2	12	5	98	33	16	41	8	9	33

学校施設調査

1 学校建物面積 [統計表 76]

ア 私立の建物面積は 1,632,278 m²(設置者所有 1,614,101 m²、借用 18,177 m²)で、前年度より 15,078 m²(0.9%)増加している。

設置者所有の建物を構造別にみると、鉄筋コンクリート 1,286,771 m²(構成比 79.7%)が最も多く、次いで鉄骨造・その他 289,938 m²(同 18.0%)、木造 37,392 m²(同 2.3%)である。

イ 公立(専修学校)の建物面積は 37,391 m²(設置者所有 35,885 m²、借用 1,506 m²)で、前年度と同数である。

設置者所有の建物を構造別にみると、鉄筋コンクリート 29,972 m²(構成比 83.5%)が最も多く、次いで鉄骨造・その他 4,401 m²(同 12.3%)、木造 1,512 m²(同 4.2%)である。

2 学校土地面積 [統計表 76]

ア 私立の土地面積は 5,323,501 m²(設置者所有 4,938,413 m²、借用 385,088 m²)で、前年度より 3,273 m²(0.1%)増加している。

イ 公立(専修学校)の土地面積は 93,368 m²(設置者所有 85,411 m²、借用 7,957 m²)で、前年度と同数である。